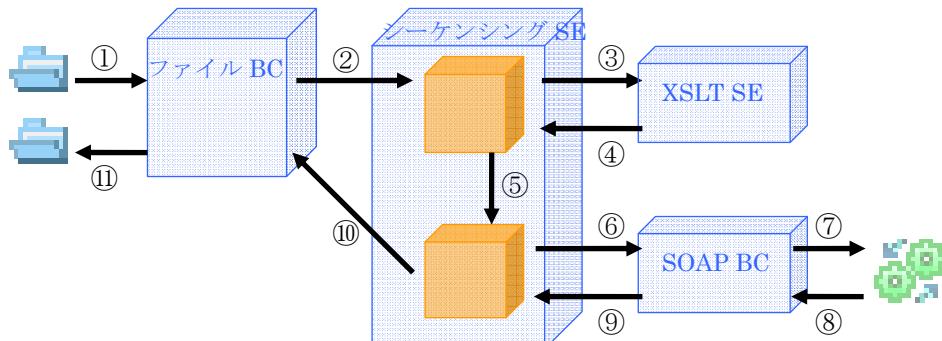


1.1.サンプル1

このサンプルは、シーケンシング SE、ファイル BC、XSLT SE、SOAP BC を連携させたサンプルです。

1.1.1.サンプルの内容



- ① File BC が入力ディレクトリからファイルを取得します。
- ② File BC がシーケンシング SE の Endpoint に取得したファイルを転送します。
- ③ シーケンシング SE は XSLT SE の Endpoint にメッセージを転送します。
- ④ XSLT SE でメッセージ変換した後、シーケンシング SE に返信します。
- ⑤ シーケンシング SE は XSLT SE から返信されたメッセージで次のサービスを実行します。
- ⑥ シーケンシング SE が SOAP BC の Endpoint を呼び出して、メッセージを転送します。
- ⑦ SOAP BC が外部の Web サービスを呼び出します。
- ⑧ 外部の Web サービスが SOAP BC に返信します。
- ⑨ SOAP BC がシーケンシング SE に返信します。
- ⑩ シーケンシング SE が File BC に返信します。
- ⑪ File BC がこの返信をファイルとして出力します。

1.1.2.サンプルのファイル構成

Zip ファイル名	説明
SoapProviderDemo.zip	シーケンシング SE、ファイル BC、XSLT SE、SOAP BC を連携させた SA です。
SoapProviderDemoProject.zip	サービスアセンブリを zip 形式でアーカイブした WebOTX 開発環境(Developer)のプロジェクトです。インポートすることでサンプルの内容をカスタマイズすることができます。利用の手順については「アプリケーション開発ガイド」の「第四部」の「5章 SOA」-「5.1. ESB」を参照してください。
soap.war	SOAP BC がアクセスする Web サービスです。
text.xml	テスト用のデータです。



SoapProviderDemoProject.zip は WebOTX 開発環境(Developer)以外では利用できません。なお、WebOTX 開発環境へインポートする時に、「プロジェクト」→「自動的にビルド」を On に設定する必要があります。

1.1.3. 実行方法

(1) 外部の Web サービスの配備

次のコマンドを実行します。ファイルは絶対パスに直してください。

Standard-J 版 ESB の場合

```
otxadmin> deploy --user admin --password adminadmin --port 6212 soap.war
```

マルチプロセスに対応する Standard/Enterprise 版 ESB での場合には、アプリケーショングループ (testapg) とプロセスグループ (testpg) を指定す必要があります。

```
otxadmin> deploy --user admin --password adminadmin --port 6212 --apgroup testapg --pgroup testpg soap.war
```

(2) 呼び出し先の URL を実際のサーバによって調整してください。

SoapProviderDemo.zip¥SoapDemo.zip¥endpoints.xml で下記に該当する記述について、下線箇所を調整してください。

```
http://localhost:80/soap/echo
```

(3) サービスマセンブリの配備

次のコマンドを実行します。ファイルは絶対パスに直してください。

Standard-J 版 ESB の場合 :

```
jbiadmin> deploy-service-assembly SoapProviderDemo.zip
```

マルチプロセスに対応する Standard/Enterprise 版 ESB での場合には、アプリケーショングループ (testapg) とプロセスグループ (testpg) を指定す必要があります。

```
jbiadmin> deploy-service-assembly SoapProviderDemo.zip testapg testpg
```

(4) サービスマセンブリを起動します。

```
jbiadmin> start-service-assembly SoapProviderDemo
```

(5) C:¥SAtestdata¥ftp¥inputxml¥に text.xml をコピーします。

(6) C:¥SAtestdata¥out¥に出力ファイルをチェックします。

成功に実行した場合、***.exten というファイルが出力します。内容は下記の通りです。

```
<outputxml>
  <record>
    <EmployeeId> 135178 </EmployeeId>
    ...
  </record>
</outputxml>
```